

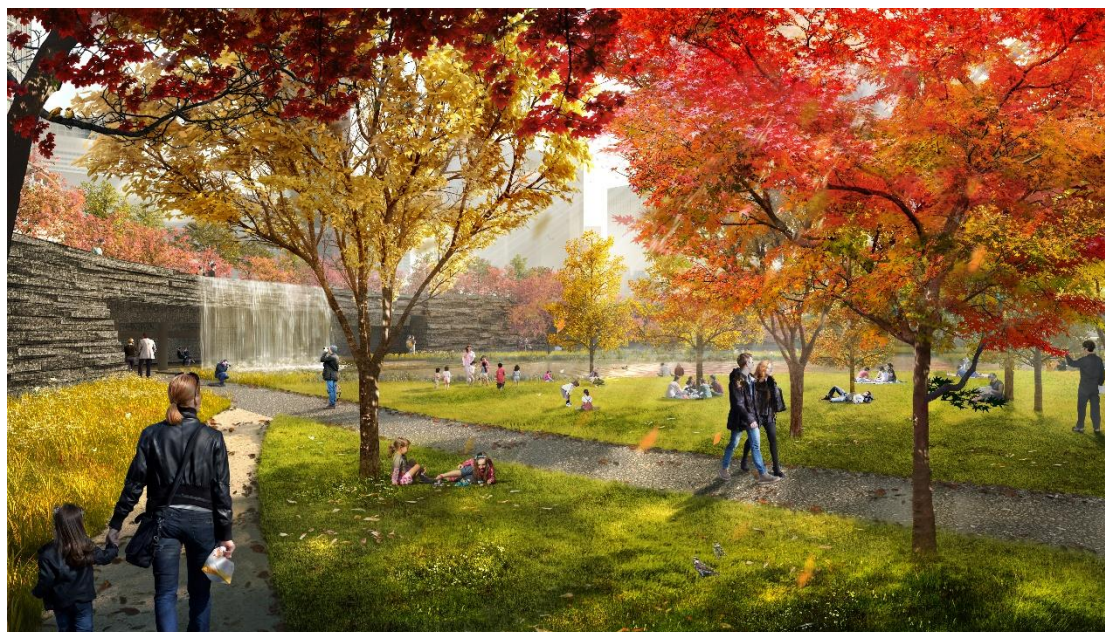
## 令和8年11月20日、うめきた公園の開園エリアが広がります

～自然豊かな憩いの空間が誕生し、大阪駅周辺地域の防災機能も向上します～

独立行政法人都市再生機構（以下、UR都市機構）は、JR大阪駅北側のうめきた2期区域において、大阪府、大阪市、三菱地所株式会社を代表企業とするグラングリーン大阪開発事業者JV9社<sup>\*1</sup>（以下、グラングリーン大阪開発事業者）、JR西日本等と連携し、都心部におけるこれまでにない魅力をもった大規模な「みどり」の空間の創出や、ライフデザイン・イノベーションをテーマとした新産業の創出拠点の形成等により、『みどり』と『イノベーション』の融合拠点の実現を目指しています。

UR都市機構は、土地区画整理事業並びに都市公園事業（防災公園街区整備事業）の施行者として、うめきた2期区域の都市機能更新を図る基盤整備をおこなっており、うめきた公園で、大規模災害時における避難者の安全確保等の防災機能の強化を図るための基盤を整備するとともに、グラングリーン大阪開発事業者と協同し公民連携による魅力ある質の高い公園の整備に取り組んでいます。

うめきた公園は、令和6年9月6日の先行まちびらきに併せサウスパーク及びノースパークの一部について先行開園（約3.5ha）を行っていますが、この度、令和9年春の全体開園に先駆け令和8年11月20日（金）にノースパークの開園エリアを拡張（約0.9ha）しますのでお知らせします。



サウスパークは上質な天然芝と水盤のある広場中心の空間に対して、ノースパークは生物多様性に配慮した自然豊かな憩いの空間として整備されます。本開園により、ノースパークの中核となる自然豊かなうめきたの森の大部分が開かれ、大阪駅周辺地域の魅力が更に増すとともに、併せて開通するうめきた公園の南北を結ぶ歩行者用デッキ（以下、ひらめきの道）

により、地域の回遊性が向上します。

ノースパーク開園エリアの拡張によりうめきた公園は全体の9割以上が開園します。引き続き、市民の愛着が「みどり」を育てる、憩いの場所を創出するとともに、大阪駅周辺地域の防災機能強化に資する拠点の形成を推進してまいります。

\*1 三菱地所株式会社、大阪ガス都市開発株式会社、オリックス不動産株式会社、関電不動産開発株式会社、積水ハウス株式会社、株式会社竹中工務店、阪急電鉄株式会社、三菱地所レジデンス株式会社、うめきた開発特定目的会社

**【お問い合わせ先】**

西日本支社 総務部総務課（電話）06-4799-1231

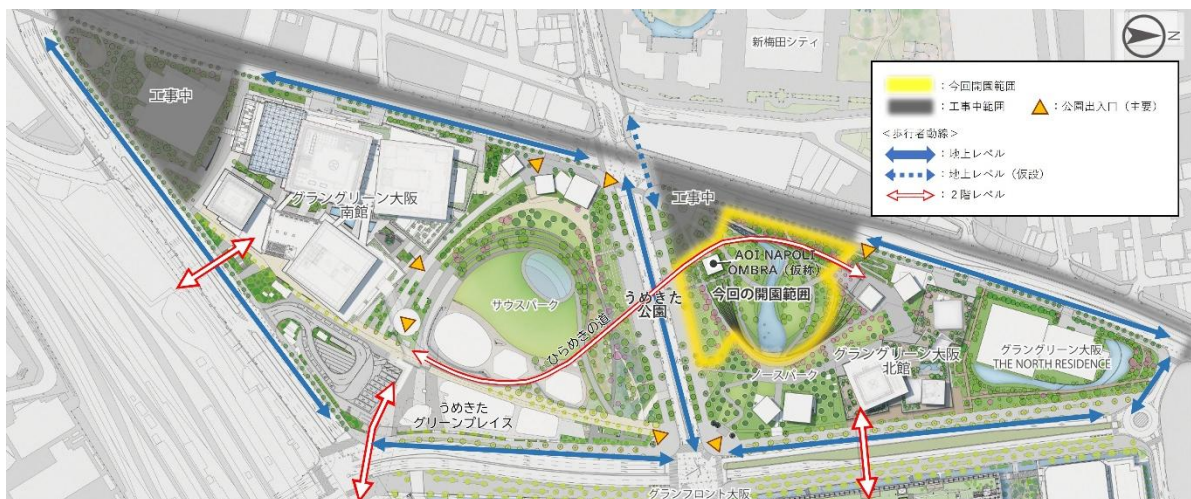
西日本支社 都市再生業務部うめきた都市再生事務所（電話）06-6292-5267

**■うめきた公園の開園エリア**

- ・開園エリア拡張予定日：令和8（2026）年11月20日（金）
- ・当該開園により拡張するエリア：約0.9ha

（注）開園エリアについては、今後の進捗状況により変更となる可能性があります。

（注）本開園により、ひらめきの道やビューレストラン（AOI NAPOLI OMBRA（仮称））、うめきたの森の大部分がご利用いただけることとなります。



**■拡張するエリアの空間イメージ**



東西に広がる池と豊かな緑が生み出す、人と生物が共生する場



水景（滝・池）を中心に樹林・芝生が広がる憩いの空間



「ひらめきの道」から桜を眺める豊かな空間体験

### <植栽計画>

生物多様性に配慮し、在来種を中心としつつ、日本らしさ、大阪らしさ、うめきたらしさを感じることが出来る植栽計画としています。

また、豊かな緑とともに水辺空間も創出される計画となっています。



### <防災（レジリエンス強化）に関する取り組み>

うめきた公園は、大規模災害時に一時避難者の受け入れが可能な「広域避難場所の機能を有する都市公園」として整備を進めております。

併せて、一時避難者の滞留スペースとして活用できる平坦な広場を確保し、動線計画においても多数の一時避難者や緊急車輛の円滑な進入を考慮した入口・幅員設定を行っています。

ノースパークに整備する池は、災害時には水を排出し避難場所として機能します。本開園エリアの拡大により、有効避難スペースが、現在の約3.0haから約3.7ha（計画：約3.9ha）に拡大します。また、ひらめきの道の開通により、2階レベルの歩行者動線が確保され、災害時におけるうめきた公園への円滑な避難が可能となります。

### ■経過と今後の予定

- 平成 27（2015）年 3月 うめきた 2 期区域まちづくりの方針策定
- 平成 30（2018）年 7月 うめきた 2 期民間開発事業者決定
- 令和 2（2020）年 12月 民間開発工事着手

- 令和4（2022）年5月 公園工事本格着手
- 令和5（2023）年3月 JR大阪駅（うめきたエリア）開業
- 令和6（2024）年9月 先行まちびらき
- 令和7（2025）年3月 賃貸棟全面開業（グラングリーン大阪南街区賃貸棟）、  
西口広場（うめきたグリーンプレイス）全面開業
- 令和8（2026）年11月 うめきた公園の開園エリア拡張  
～以降、段階的なまちびらき～
- 令和9（2027）年春頃 公園全体開園
- 令和9（2027）年度 全体まちびらき

■本公園の概要

計画地	大阪市北区大深町地内（大阪都市計画公園5・4・32号大深町公園）
公園名称	うめきた公園
面積	約4.5ha
整備	整備主体：大阪市・UR都市機構 整備手法：防災公園街区整備事業（一部、土地区画整理事業） UR都市機構によるベースグレードの公園整備に加え、グラングリーン大阪開発事業者のデザイン提案等によるまち全体の魅力を高めるアップグレードを実施後、大阪市に移管予定。
設計	基本設計：株式会社日建設計・株式会社三菱地所設計 実施設計：株式会社日建設計
施行	大林組・竹中工務店・竹中土木特定建設工事共同企業体

■現況写真（令和8年4月8日撮影）



## ■関連リンク

大阪府報道発表資料

[https://www.pref.osaka.lg.jp/hodo/fumin/o140030/prs\\_50688.html](https://www.pref.osaka.lg.jp/hodo/fumin/o140030/prs_50688.html)

大阪市報道発表資料

<https://www.city.osaka.lg.jp/hodoshiryo/osakatokei/0000677513.html>

グラングリーン大阪開発事業者報道発表資料

[https://www.mec.co.jp/news/detail/2026/04/23\\_mec260423\\_ggo](https://www.mec.co.jp/news/detail/2026/04/23_mec260423_ggo)

※本資料で使用しているパース（提供：グラングリーン大阪開発事業者）

### <本件が取り組む SDGs>

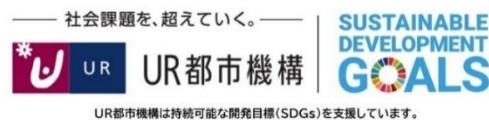


### <UR都市機構について>

UR都市機構の歩みは戦後の住宅不足解消に端を発しています。1955年から様々なステークホルダーとともに、時代時代の多様性に即し、安全・安心・快適なまちづくり・くらしづくりを通して、「人が輝く“まち”」の実現に貢献してまいりました。そしてこれからも、変化する社会課題に挑戦し続けることで皆さまにお応えし、「人が輝く“まち”」づくりに不可欠な存在でありたいと考えております。これまで培ってきた持続可能なまちづくりのノウハウをいかし、都市再生事業・賃貸住宅事業・災害対応支援・海外展開支援に全力で取り組んでまいります。

### <UR都市機構公式サイト>

<https://www.ur-net.go.jp/>



### <うめきた都市再生事務所 Instagram>

<https://instagram.com/umekita2ur>



### <うめきたプロジェクト/UR都市機構>

<https://www.ur->

[net.go.jp/produce/case/umekita/?msockid=202fc8cc76846fa7176fde7577ba6ede](https://www.ur-net.go.jp/produce/case/umekita/?msockid=202fc8cc76846fa7176fde7577ba6ede)